

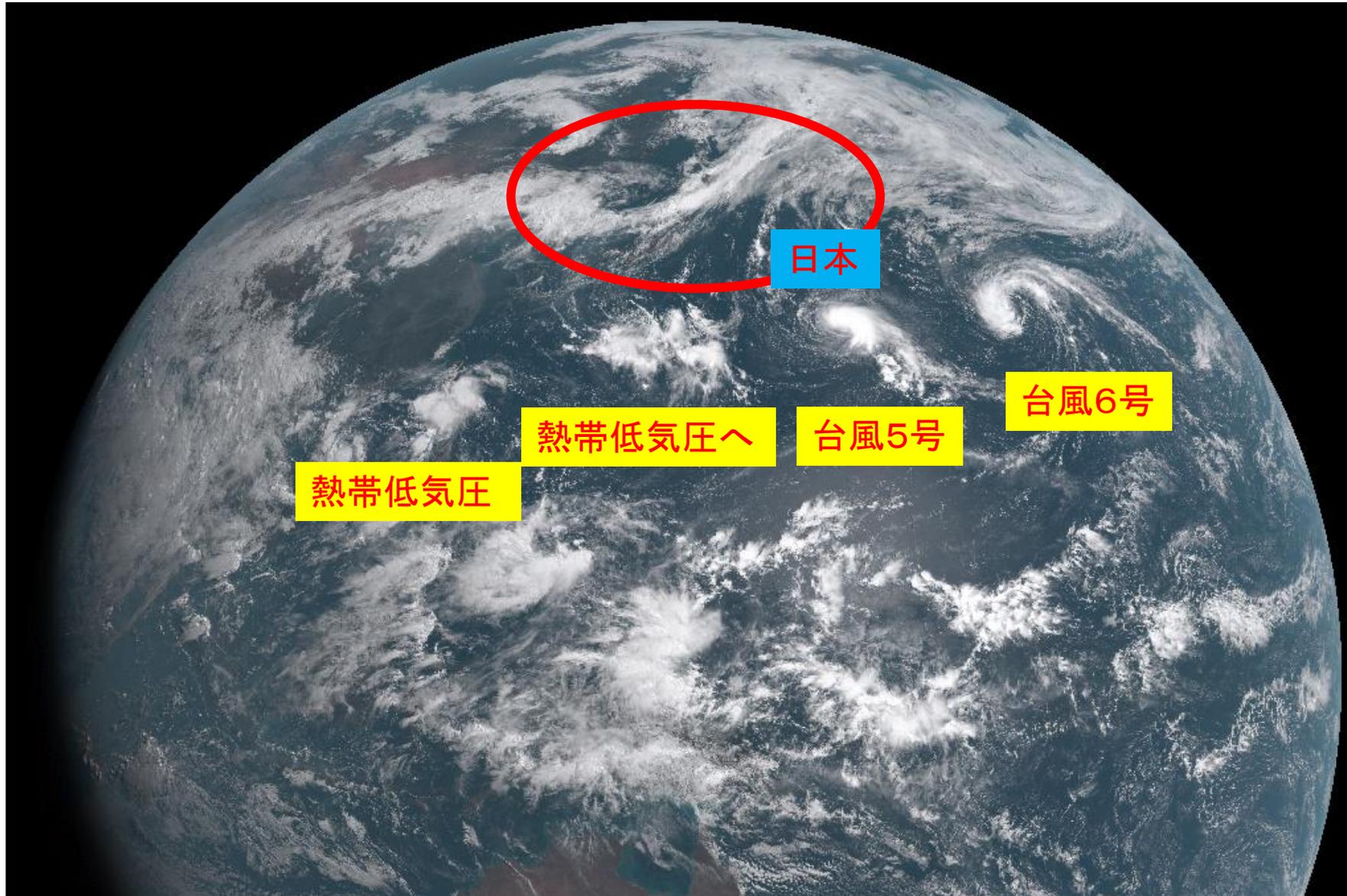
気象情報に欠かせない気象衛星

気象キャスター
井田寛子

2015.07.07 23:30JST (07 JUL 2015 14:30UTC)

HIMAWARI J

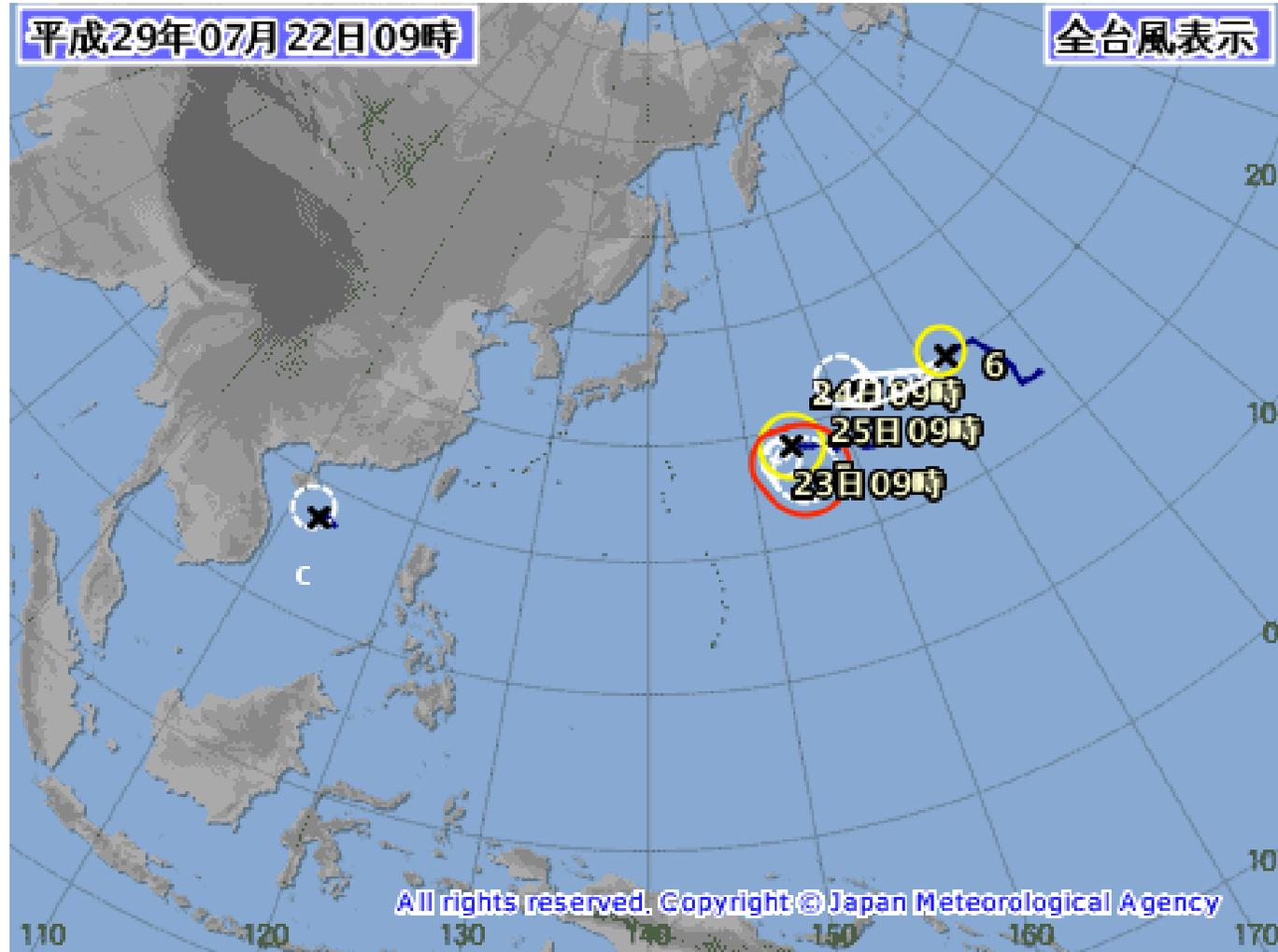
きのう台風5・6号発生



きのう台風5・6号発生

平成29年07月22日09時

全台風表示



25m/s以上の暴風域

15m/s以上の強風域

暴風警戒域

予報円

気象情報が届くまで

1. 現在の気象を確認（実況）
2. 天気図の解析（予報）
3. 放送で使う予報画面を構成
4. 生放送で伝える

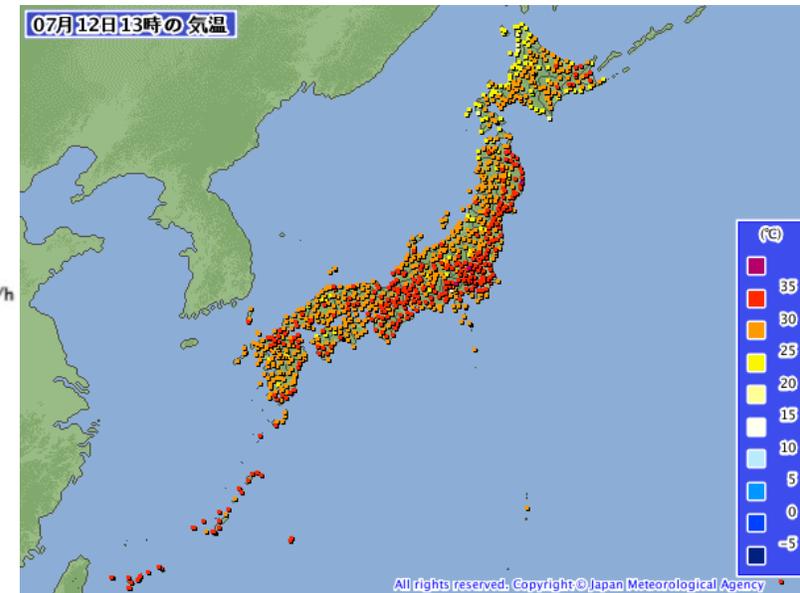
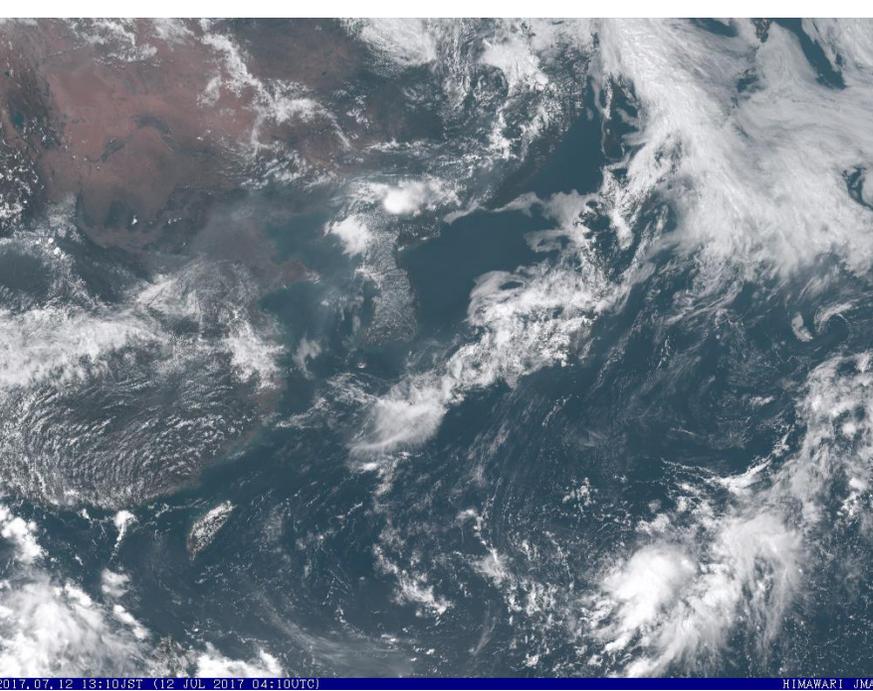
気象情報が届くまで

1. 現在の気象を確認（実況）

気象衛星ひまわり

雨雲レーダー

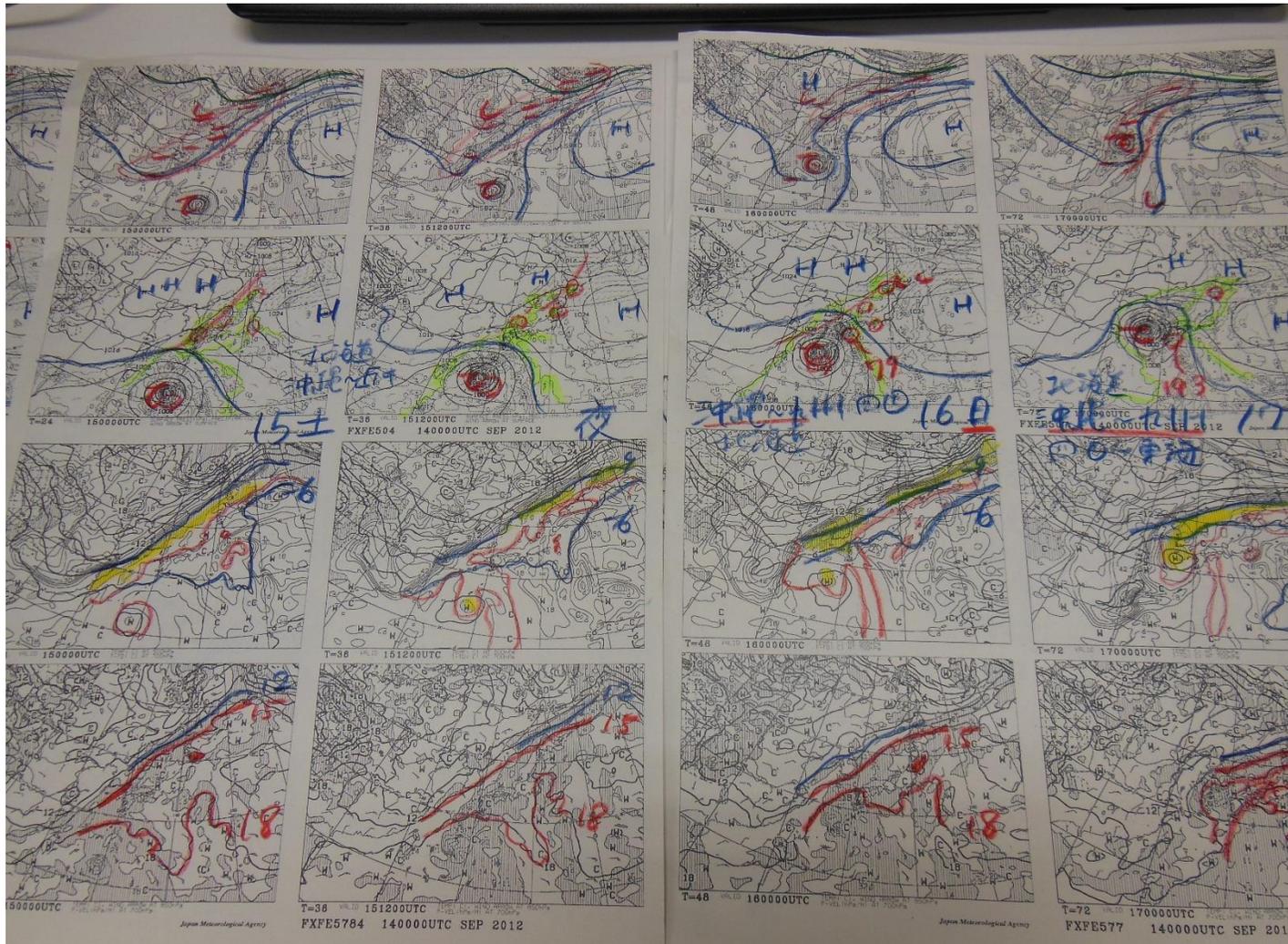
アメダス



雲の動きは？どこで雨が降っている？気温は？風は？……

気象情報が届くまで

2. 天気図の解析（予報）



予報の資料
(天気図ができるまで)
には
観測が必須！！！！

観測とは ①地上観測



アメダス(気温、降水量、風向風速、日照時間)

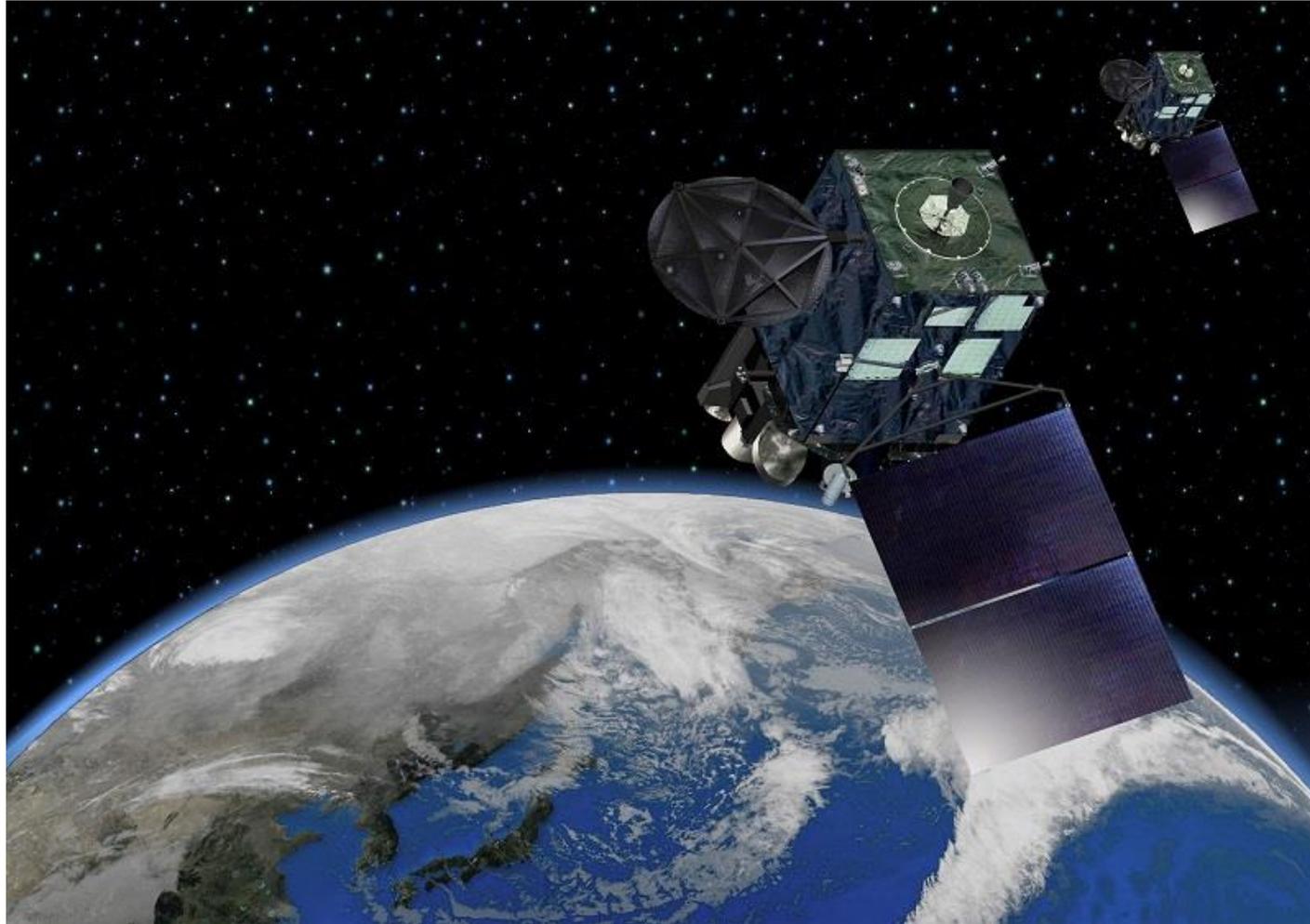
観測とは②高層観測(上空30Km付近まで)



ラジオゾンデ

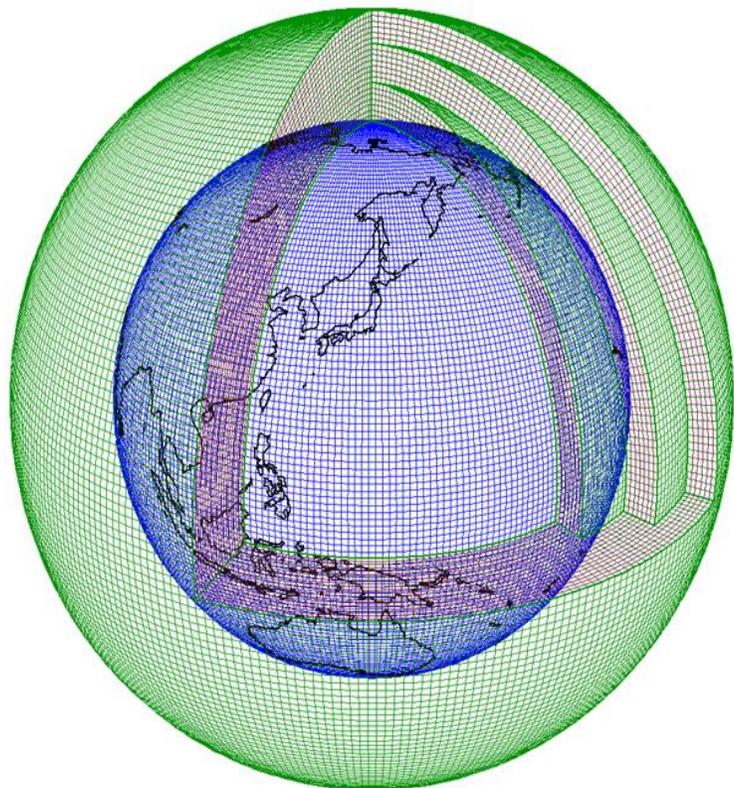
(日本では16の気象官署＋南極)で9時・21時の2回観測

観測とは③高層観測(上空35800Km付近から)

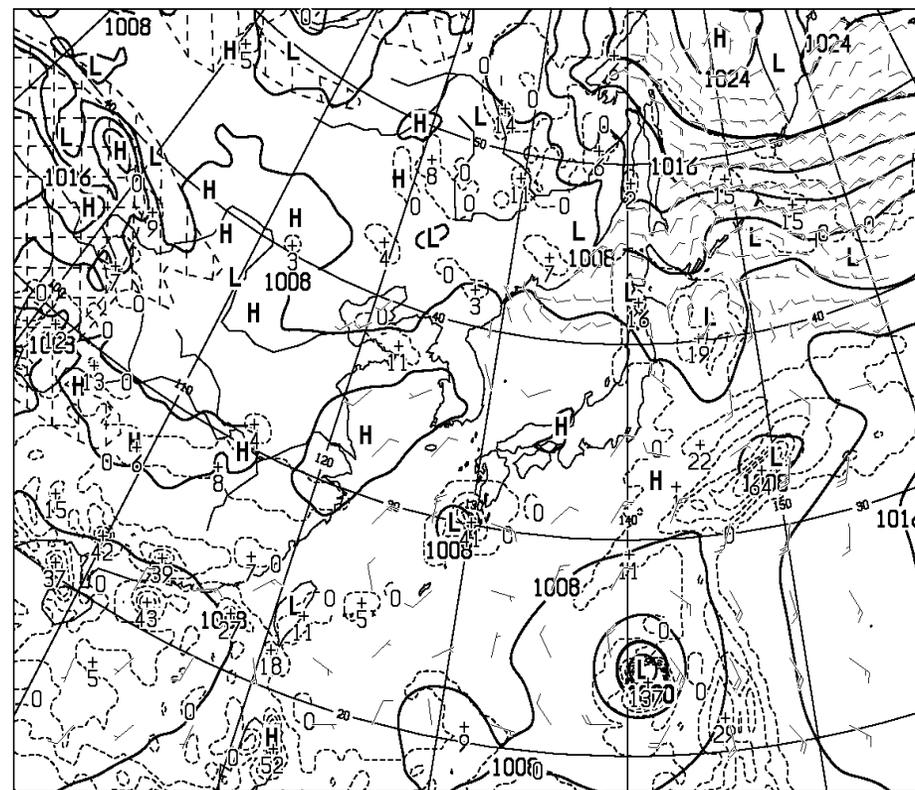


ひまわり8号(2015. 7. 7から運用開始)
地球面積の7割を占める貴重な海上のデータを捉える

観測があるから予報ができる(天気図完成)



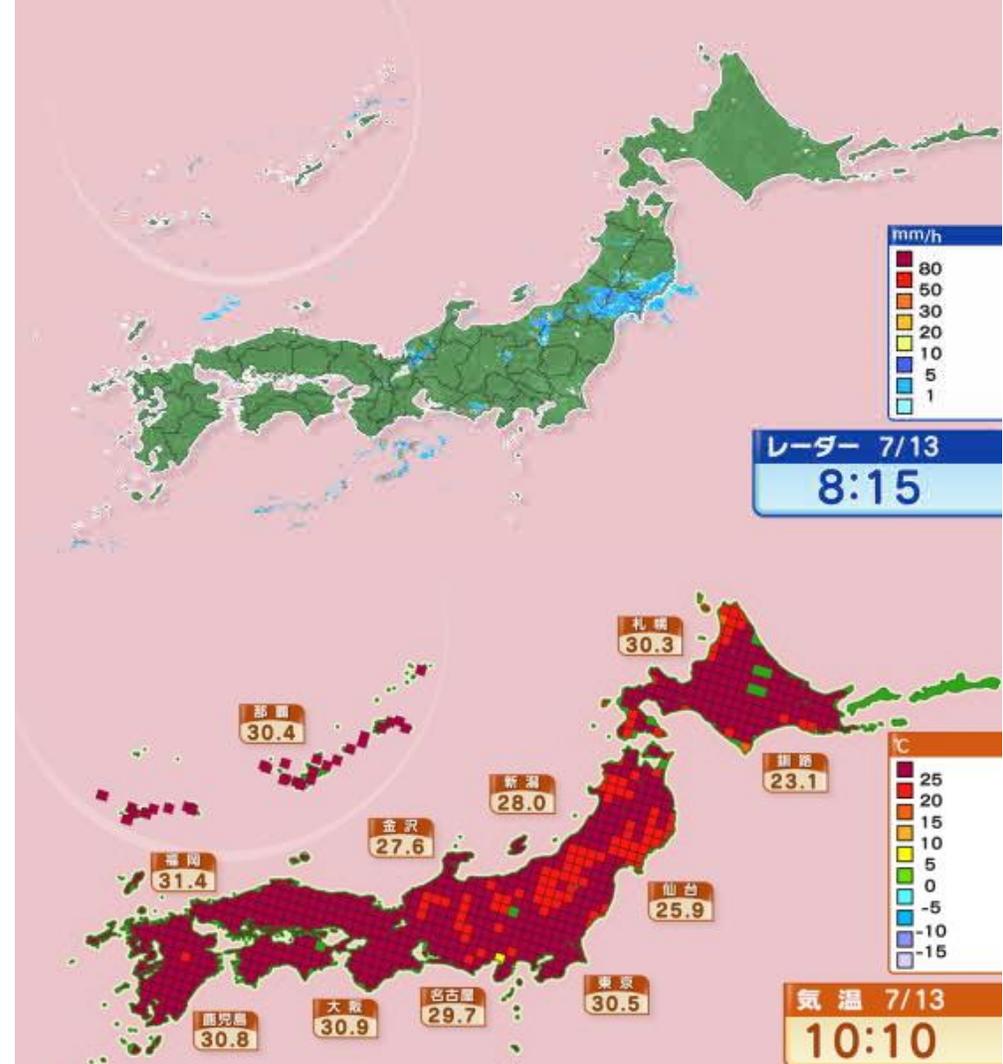
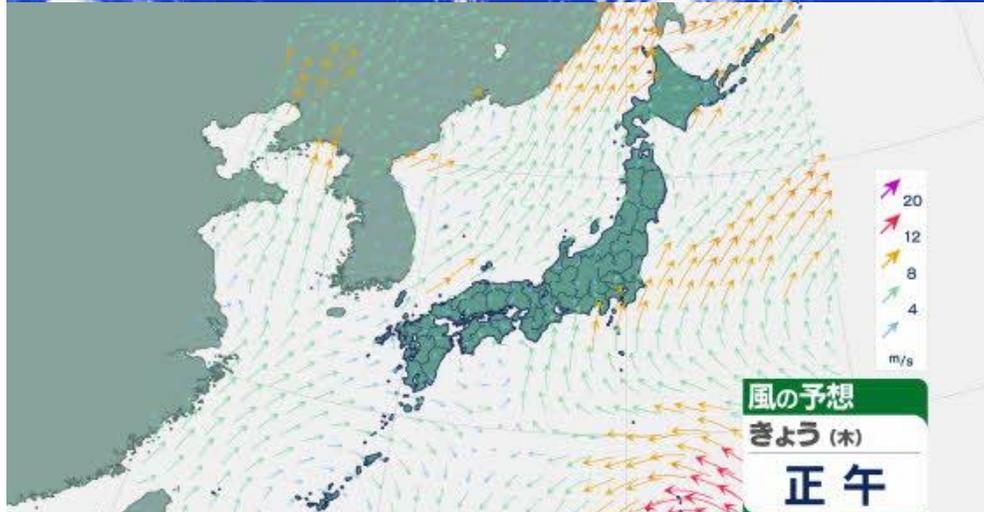
コンピューターによる計算結果の例



T=24 VALID 260000UTC SURFACE PRESS(hPa), PRECIP (MM) (12-24)
WIND ARROW AT SURFACE

気象情報が届くまで

3. 放送で使う予報画面を作成



ひまわりの成長と共に予報精度も向上

7号と8号の比較

- **解像度4倍**

(可視画像 1km→0.5km)

(赤外画像 4km→2km)

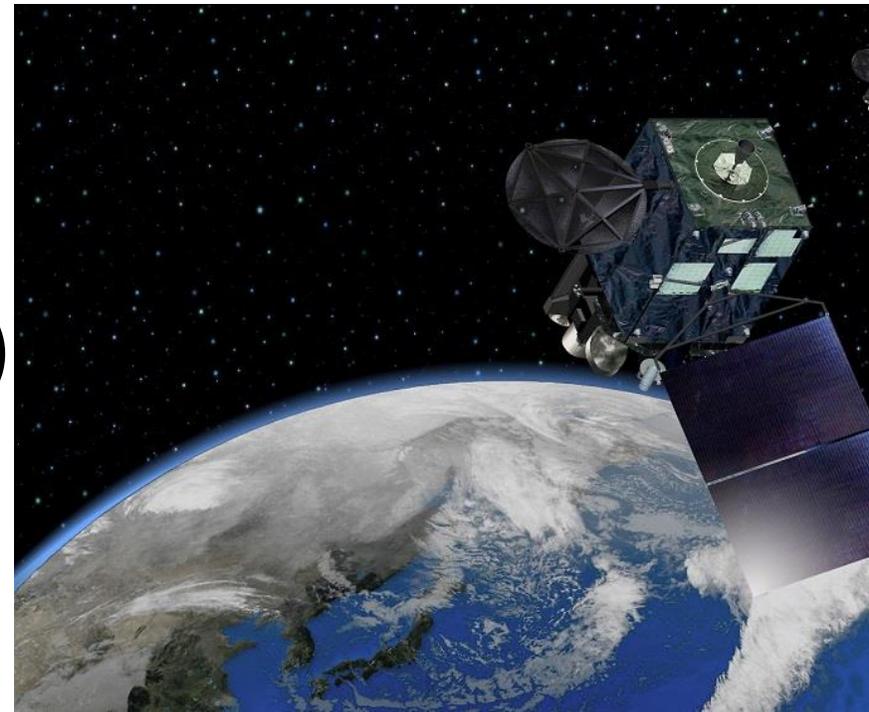
- **観測時間**

(全球 1時間に1回→10分に1回)

日本付近は2分半に1回)

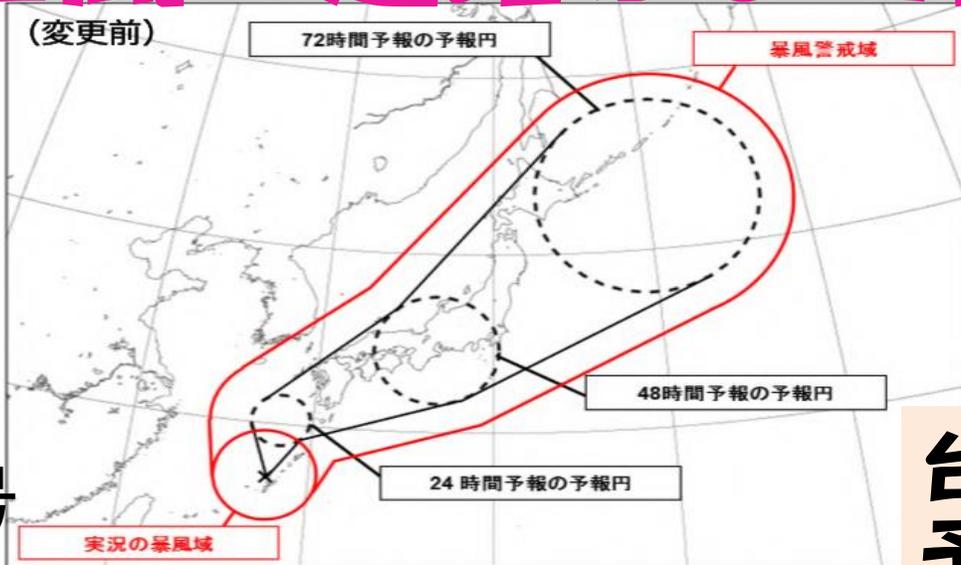
- **白黒→カラーへ**

(波長帯 5バンド→16バンド)



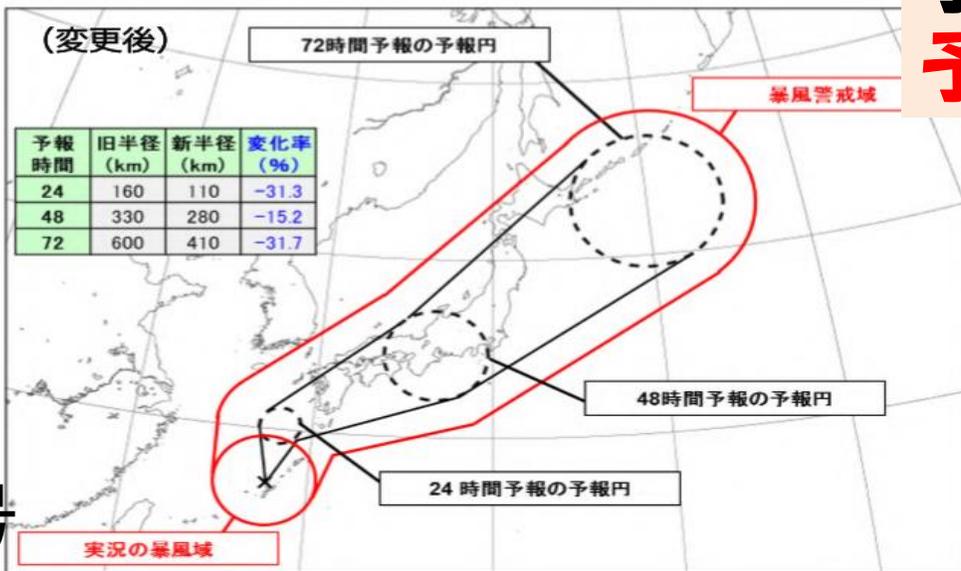
台風の進路がより正確に

ひまわり7号

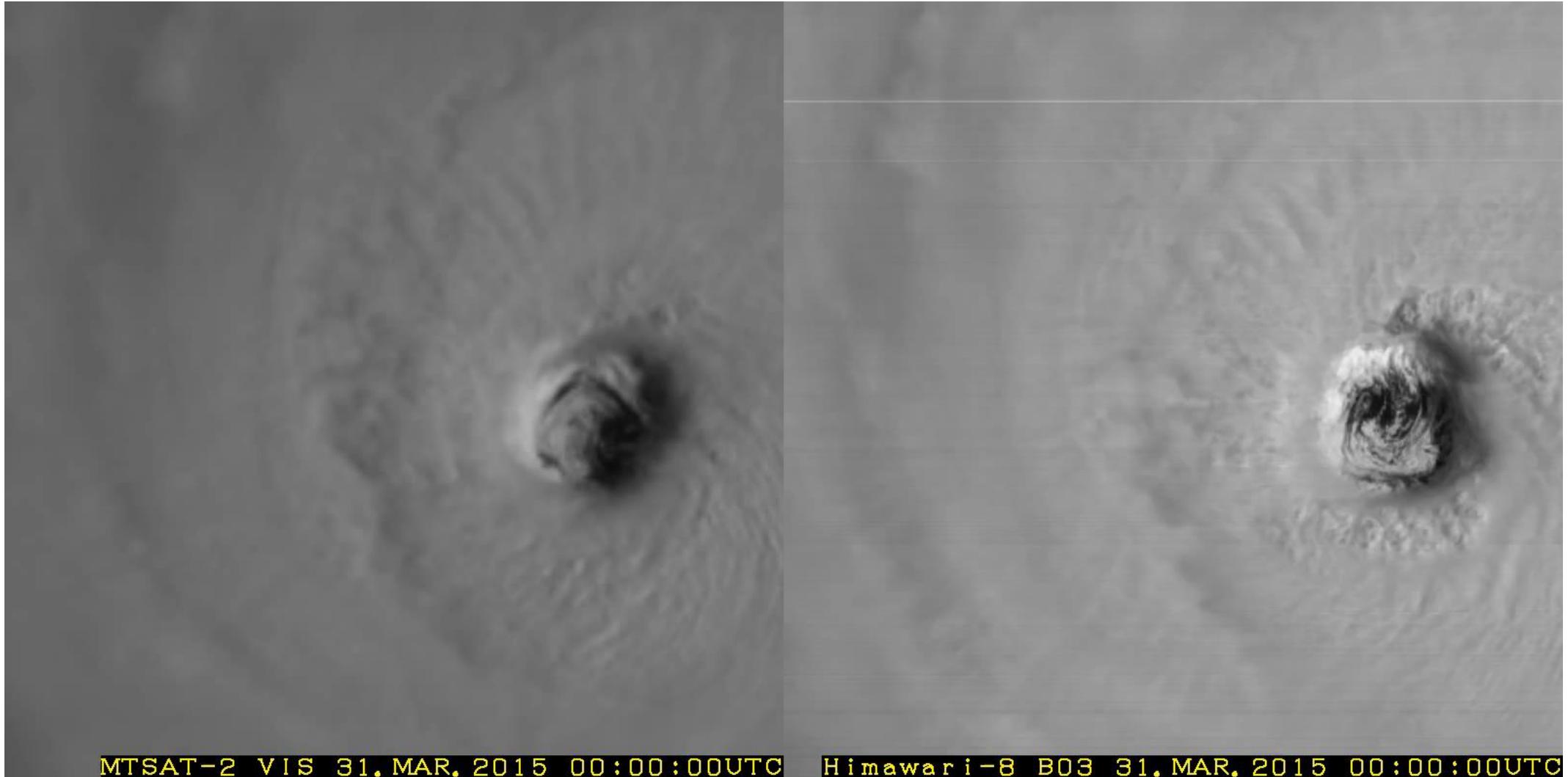


台風の中心
予報円に入る確率70%
予報円20~40%小さくなる

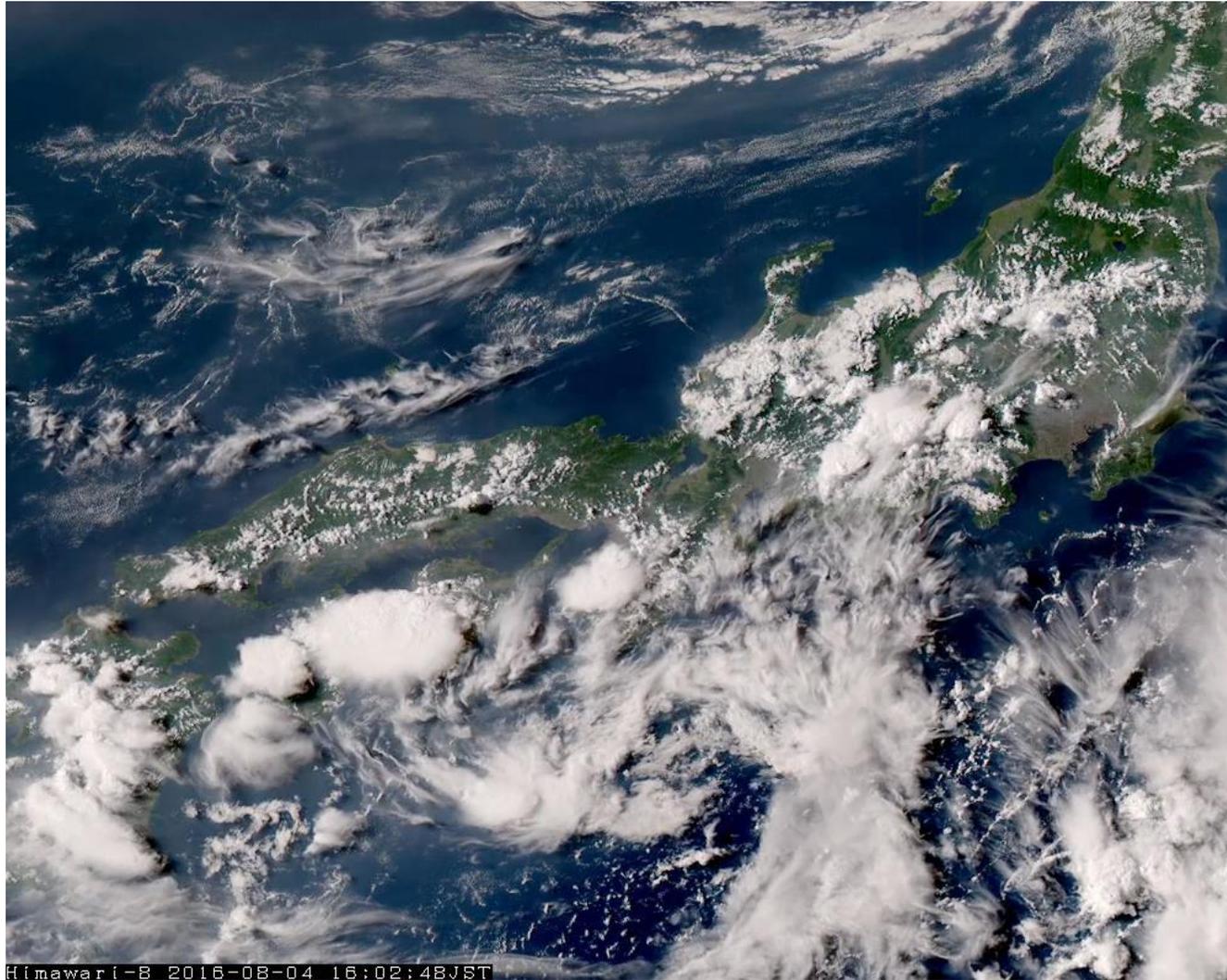
ひまわり8号



台風の進路がより正確に



局地的大雨（積乱雲）を速やかに捉える



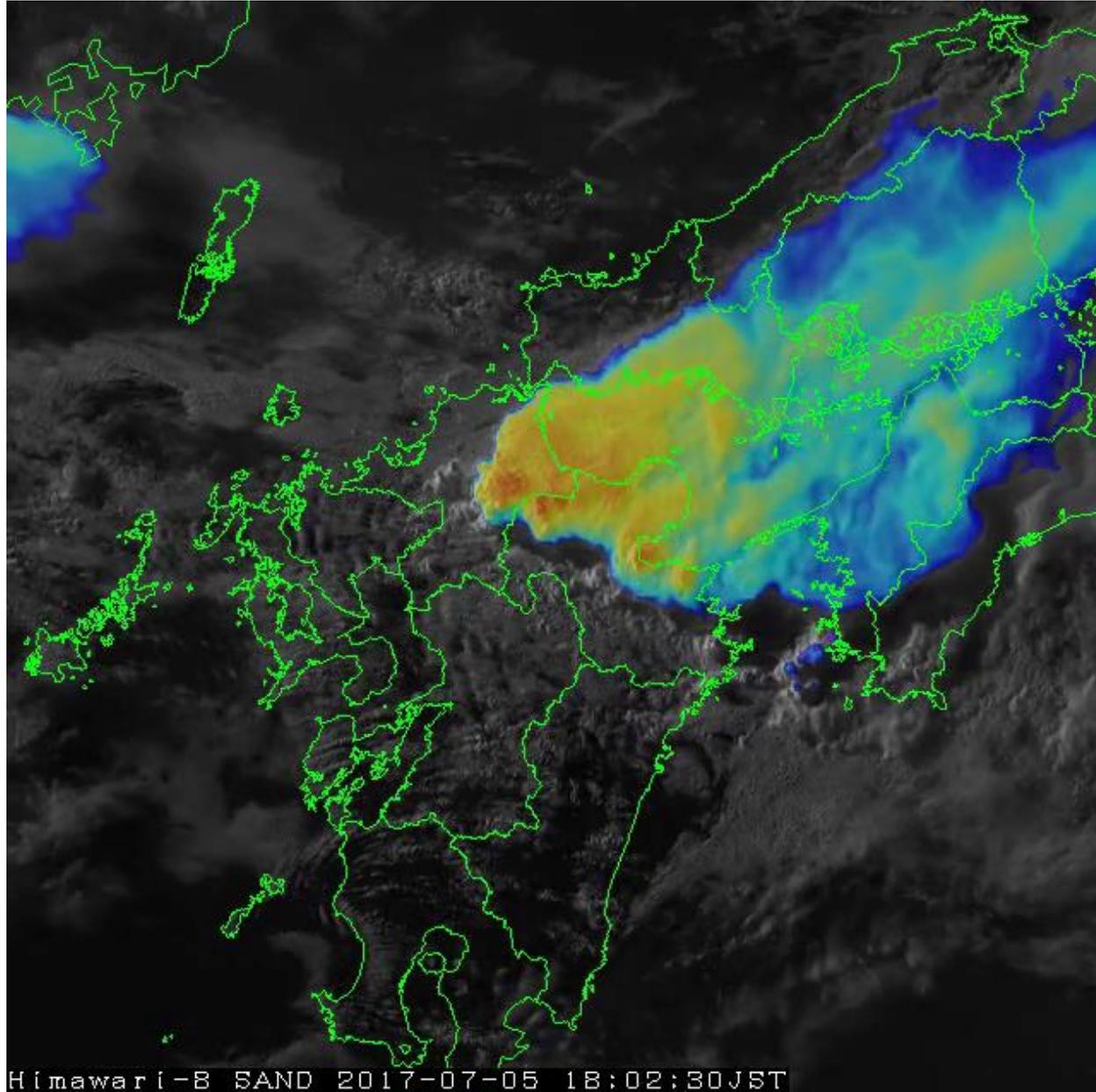
Himawari-8 2016-08-04 16:02:48JST

2016年8月4日
西～東日本山間部 不安定

紀伊半島沖上空 寒冷低気圧

栃木県鹿沼市1時間71.5ミリ

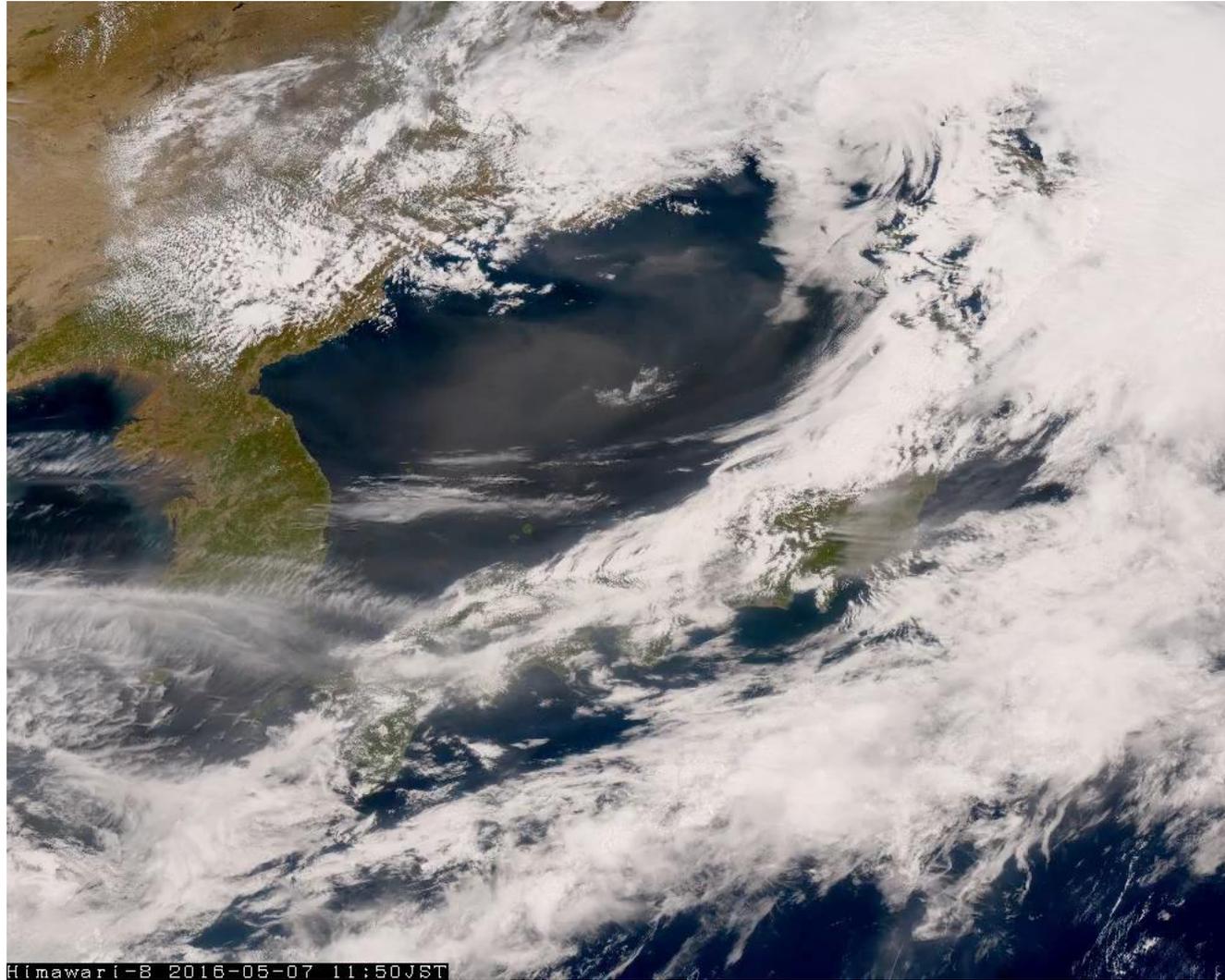
平成29年7月九州北部豪雨



2017年7月5～6日
梅雨前線南側に線状降水帯停滞
九州北部で記録的大雨

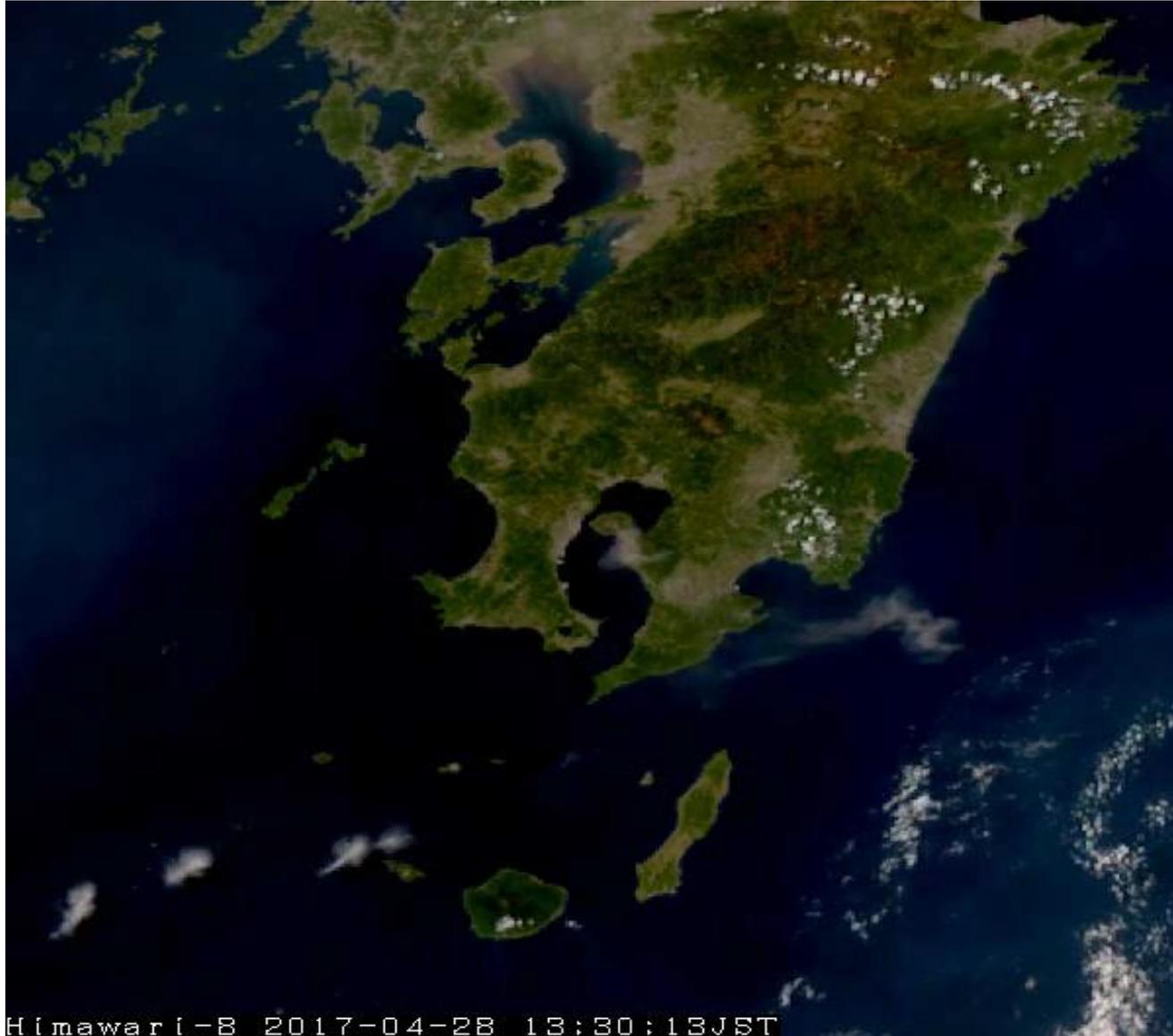
24時間雨量
福岡県朝倉市～大分県日田市付近
500ミリ以上
7月平年降水量 上回る

黄砂、火山灰、海氷をカラーで視覚化



2016年5月7日
全国19か所で黄砂観測

黄砂、火山灰、海氷をカラーで視覚化



2017年4月28日
桜島 噴火

Himawari-8 2017-04-28 13:30:13JST

気象キャスターの役割

- 今何が発生しているのか？
これから何が起こるのか？ **いち早く気づくこと**
- その上で情報を **正確に分かりやすく伝えること**

ひまわりの精度向上により、これまでより早く
正確に気づくことができる
伝える、見せるツールとしても
一般の人に分かりやすい

気象情報に欠かせない気象衛星

ありがとう
ございました！！

気象キャスター
井田寛子